

子どもの表現意欲を満たす語彙指導を求めて

—needs analysisを中心として—

広島大学大学院 馬 本 勉

1. はじめに

語彙指導は、言語教育に於ける一構成要素として、各時代、各教授法の変遷とともに様々な展開を見せてきた。Grammar-Translation approachのもとでは訳語を与える語彙リストの使用、Direct Methodにおいては、導入の段階で、contextから語彙の意味を推し量るという方法が主流であったという。Audiolingual approachの隆盛期に至っては、発音や構文の陰に隠れて、語彙の指導は後回しにされてきたというのである。ところが昨今のcommunicative approachのもとで、語彙の問題が再び脚光を浴びるようになった。特に社会言語学的な研究の進歩に伴い、個々の語義を含む、意味の重要性が叫ばれているのである(Bowenほか 1985,322-23)。

最近の言語教育学者の関心を集めている、communicative approachにおいてさらに注目すべき点は、自分の言いたいことを伝える、発信型の言語教育に力点が置かれ始めたことである。さらに、van Ek (1975) や Wilkins (1976) に見られるように、学習者個人個人の表現欲求、即ちニーズに基づく教材編成を中心に据えた動きがある。

2. 研究の概要

本研究は、こうした背景を踏まえ、現在求められているコミュニケーション能力を向上させるという観点から、日本の学習者、特に中高生のためのより良い語彙指導の在り方を求めていこうとするものである。本稿はその第一段階として位置付けられ、子どもが伝えたい、表現したいと欲する語彙をneeds analysisの手法を通して明らかにしていく。そして彼らが求める語彙と、彼らにとって、英語の語彙をinputするための主たるsourceである教科書で扱われている語彙とのズレを明らかにし、言語材料の面から語彙指導の問題点を考察していこうというのが本研究の目的である。

今回実施した調査は、筆者が非常勤講師として勤務している高等学校の生徒から、授業中によく出される質問に端を発している。それらは、例えば「先生、シャーペンの芯って英語で何て言うの」といった質問であり、その多くは彼らの生活に密着し、日本語の会話の中には頻繁に登場する身近な語彙に関するものである。自分の身の回りのことが英語で表現できない——案外見落とされがちなことではあるが、コミュニケーションの本質に関わる大問題である。生徒の素朴な声がかきかけとはいえ、この問題は語彙の指導、ひいては英語教育の改善に何らかの示唆を与えてくれるものと思われる。

3. 研究・調査の方法

調査は1988年6月14日(火)、広島市内の私立高等学校普通科1年生男子108名の協力を得て実施された。内容は彼らが英語で表現したい言葉を日本語で書かせるものであり、学校生活・衣・食・住の4領域について各々10ずつの記入を求めた。延べ語数4000余を領域別に集計し、5名以上から挙げられた語を提示したものが表1である。

[表1]

学校生活	衣	食	住
1. 黒板(27)	1. げた(42)	1. 納豆(30)	1. 畳(34)
2. 黒板消し(25)	2. ふんどし(33)	2. うどん(28)	2. 柱(29)
3. 体育館(20)	3. 靴下(32)	3. 豆腐(23)	3. たんす(22)
4. 校舎(18)	4. 着物(31)	4. ラーメン(23)	4. 障子(19)
5. いじめ(14)	5. かつら(30)	5. みそ汁(20)	5. 天井(17)
6. チョーク(14)	6. 足袋(27)	6. すし(19)	6. 押し入れ(16)
7. 廊下(14)	7. 腹巻き(25)	7. 梅干し(15)	7. ふすま(16)
8. 教卓(13)	8. ネクタイ(24)	8. お好み焼き(13)	8. 階段(15)
9. 蛍光灯(12)	9. ズボン(23)	9. そば(13)	9. 玄関(15)
10. 職員室(12)	10. 学生服(22)	10. たくあん(13)	10. たて穴式住居(15)
11. 朝礼(12)	11. 草履(22)	11. 焼き肉(13)	11. 便所(15)
12. 食堂(11)	12. 長靴(22)	12. きゅうり(12)	12. 水道(13)
13. 体育(11)	13. 袴(22)	13. せんべい(11)	13. 冷蔵庫(13)
14. 部室(11)	14. 手袋(19)	14. 餅(11)	14. じゅうたん(12)
15. 屋上(9)	15. 浴衣(19)	15. 牛丼(10)	15. 布団(11)
16. 教科書(9)	16. よろい(16)	16. ギョウザ(10)	16. こたつ(10)
17. 校長(9)	17. 靴(14)	17. そうめん(10)	17. 洗濯機(10)
18. 校庭(9)	18. シャツ(14)	18. たこ焼き(10)	18. 床の間(10)
19. ごみ箱(9)	19. 鉢巻き(14)	19. 酒(9)	19. 屋根(10)
20. ちりとり(9)	20. パンツ(13)	20. 刺身(9)	20. アパート(9)
21. ほうき(9)	21. 眼鏡(13)	21. すいか(9)	21. 家(9)
22. 校則(8)	22. ジーパン(12)	22. 漬物(9)	22. かわら(9)
23. 自転車置き場(8)	23. 十二単衣(11)	23. ねぎ(9)	23. 扇風機(9)
24. 机(8)	24. 体操服(11)	24. おむすび(8)	24. 床(9)
25. いす(7)	25. Tシャツ(11)	25. カツ丼(8)	25. いす(7)
26. 教壇(7)	26. ベルト(11)	26. 鯛(8)	26. 壁(7)
27. 修学旅行(7)	27. 革靴(10)	27. てんぷら(8)	27. 小屋(7)
28. 水道(7)	28. ボタン(10)	28. かまぼこ(7)	28. 雑巾(7)
29. 青春(7)	29. おしめ(9)	29. ご飯(7)	29. 風呂(7)
30. 退学(7)	30. 柔道着(9)	30. 大根(7)	30. ベッド(7)
31. 停学(7)	31. ちゃんちゃんこ(9)	31. ちくわ(7)	31. 包丁(7)
32. 不良(7)	32. 入れ歯(8)	32. 天井(7)	32. 枕(7)
33. 補習(7)	33. カッターシャツ(8)	33. なす(7)	33. 蛍光灯(6)
34. 傘立て(6)	34. 毛皮(8)	34. いか(6)	34. 豪邸(6)
35. 休憩(6)	35. さらし(8)	35. 昆布(6)	35. 座布団(6)
36. 欠点(落第点)(6)	36. 帯(7)	36. すき焼き(6)	36. 大黒柱(6)
37. 更衣室(6)	37. 靴ひも(7)	37. 大豆(6)	37. 電柱(6)
38. 校内暴力(6)	38. 財布(7)	38. たこ(6)	38. 箸(6)
39. 社会科(6)	39. すててこ(7)	39. たらこ(6)	39. 別荘(6)
40. 柔道着(6)	40. ポンタン(7)	40. 海苔(6)	40. まな板(6)
41. 授業(6)	41. 海水パンツ(6)	41. はまち(6)	41. マンション(6)
42. 先輩(6)	42. かぶと(6)	42. まぐろ(6)	42. 屋根裏(6)
43. 美術(6)	43. 作業着(6)	43. 饅頭(6)	43. 廊下(6)
44. ものさし(6)	44. ジャージ(6)	44. わかめ(6)	44. 回転ベッド(5)
45. 古典(5)	45. トレーナー(6)	45. おかゆ(5)	45. ごみ箱(5)
46. 消化器(5)	46. ブラジャー(6)	46. おせち(5)	46. 洗面所(5)
47. 卒業式(5)	47. わらじ(6)	47. かぼちゃ(5)	47. ストープ(5)

48. 体操服(5)	48. かっぱ(5)	48. 竹の子(5)	48. 台所(5)
49. 通知表(5)	49. 背広(5)	49. 玉ねぎ(5)	49. 机(5)
50. 鉄棒(5)	50. つけひげ(5)	50. 中華そば(5)	50. 電線(5)
51. 入学式(5)	51. 水着(5)	51. にんじん(5)	51. 仏壇(5)
52. 物理(5)		52. 麦(5)	52. 部屋(5)
53. 文化祭(5)		53. 焼きそば(5)	53. ほうき(5)
		54. ようかん(5)	54. ベランダ(5)
			55. ラブホテル(5)

記入された語彙については、生徒間の個人差が激しく、かなりのばらつきが見られた。()内の数はその語を記入した生徒数である。4領域に限定したのは、予備調査の段階で、彼らの表現欲求がそれらに集中していたことによる。

次に、表1の語に相当する英語の語彙が教科書でどう扱われているかを示したものが表2、3、4、5である。試訳として提示した英語表現は、英和・和英辞典を数冊参照の上、最も適切と思われるものを選択し、native speakerのチェックを受けた。複数の対応語句が考えられるものについては、できるだけ最も一般的な一試訳を提示するよう努めた。なお日本独特のものを表現する場合、簡潔な説明的な訳にしたものと、そのままローマ字表記で残したものとがある。

〔表2〕

SCHOOL LIFE

	中	高英 I
1. blackboard (board)	1 (1)	— ★
2. eraser	1	
3. gym	4	
4. school building	0	
5. bullying	0	
6. chalk	0	
7. corridor	0	
8. teacher's desk	0	
9. fluorescent lamp	0	
10. teachers' room	0	
11. assembly	1	
12. cafeteria	1	
13. P. E.	1	
14. clubroom	0	
15. roof	1	—
16. textbook	1	—
17. principal	1	
18. playground	2	
19. trash can	0	
20. dustpan	0	
21. broom	1	
22. school rules	0	
23. bicycle shed	0	
24. desk	6	—
25. chair	5	—

〔表3〕

CLOTHING

	中	高英 I
1. geta	0	
2. loincloth	0	
3. socks	0	★
4. kimono	0	
5. wig	0	
6. tabi	0	
7. belly band	0	
8. tie	1	—
9. trousers	0	
10. school uniform (uniform)	0 (1)	—
11. sandals	0	
12. boots	0	
13. hakama	0	
14. gloves	1	—
15. yukata	0	
16. armor	0	
17. shoes	3	—
18. undershirt	0	
19. headband	0	
20. underpants	0	
21. glasses	1	—
22. jeans	0	
23. ceremonial dress of a Japanese court lady	0	
24. training uniform	0	

26. platform	0		25. T-shirt	1	
27. school excursion (graduation trip)	0 (1)		26. belt	3	
28. tap	1		27. shoes	3	-
29. youth	0		28. button	0	
30. dropout	0		29. diaper	0	
31. suspension from school	0		30. suit for judo practice	0	
32. delinquent	0		31. padded sleeveless coat	0	
33. supplementary lesson	0		32. false teeth	0	
34. umbrella-stand	0		33. shirt	1	★
35. break (rest)	1 (2)	-	34. fur	1	
36. F mark	0		35. sarashi	0	
37. locker room	0		36. obi	0	
38. school violence	0		37. shoelace	0	
39. social studies	0		38. wallet	0	
40. suit for judo practice	0		39. suteteko	0	
41. class (lesson)	6 (6)	-	40. baggy trousers	0	
42. senior	1		41. swimming trunks	0	
43. art	2	-	42. helmet	1	
44. ruler	2		43. working clothes	0	
45. classical literature	0		44. training suit	0	
46. fire extinguisher	0		45. sweat shirt	0	
47. graduation ceremony	1		46. brassiere	0	
48. training uniform	0		47. sandals	0	
49. report card	2		48. raincoat	1	
50. horizontal bar	0		49. suit	0	
51. entrance ceremony	0		50. false mustache	0	
52. physics	0	★	51. swimsuit	0	
53. school festival	1				

〔表 4〕
FOOD

	中	高英 I
1. fermented soybeans	0	
2. noodles	1	
3. bean curd (tofu)	0 (1)	
4. ramen	0	
5. miso soup (miso-shiru)	0 (1)	
6. sushi	3	
7. pickled plum (ume pickles)	0 (1)	
8. okonomiyaki	0	
9. buckwheat noodles	0	
10. pickled radish	0	
11. Korean barbecue	0	

〔表 5〕
LIVING

	中	高英 I
1. tatami	1	
2. pillar	0	
3. chest of drawers	0	
4. shoji	1	
5. ceiling	2	
6. closet	0	
7. fusuma	0	
8. stairs	1	
9. front door	0	
10. dugout	0	
11. bathroom (rest room)	1 (1)	
12. tap	1	
13. refrigerator	1	

12. cucumber	1		14. carpet	0	
13. rice cracker	0		15. futon	0	
14. rice cake	1		16. kotatsu	0	
15. gyudon	0		17. washing machine	0	
16. Chinese meat dumpling	0		18. alcove	0	
17. somen	0		19. roof	1	—
18. takoyaki	0		20. apartment	2	★
19. sake	0		21. house	6	—
20. raw fish (sashimi)	0 (1)		22. tile	0	
21. watermelon	0		23. fan	0	
22. pickles	1		24. floor	4	—
23. leek	0		25. chair	5	—
24. rice ball (onigiri)	0 (3)		26. wall	6	—
25. katsudon	0		27. cabin	1	★
26. sea bream	0		28. floorcloth	0	
27. tempura	3		29. bath	1	—
28. boiled fish paste	0		30. bed	6	—
29. rice	1	—	31. cooking knife	0	
30. radish	0		32. pillow	0	
31. chikuwa	0		33. fluorescent lamp	0	
32. tendon	0		34. mansion	0	
33. eggplant	1		35. cushion	0	
34. squid	0		36. central pillar	0	
35. kelp	0		37. utility pole	0	
36. sukiyaki	1		38. chopsticks	1	
37. soybean	0		39. cottage	0	
38. octopus	0		40. cutting board	0	
39. cod roe	0		41. condominium	0	
40. dried sheets of seaweed	0		42. attic	0	
41. young yellowtail	0		43. corridor	0	
42. tuna	0		44. revolving bed	0	
43. bean-jam bun	0		45. trash can	0	
44. seaweed	0		46. bathroom	1	
45. rice porridge	0		47. heater	0	★
46. osechi	0		48. kitchen	6	—
47. pumpkin	0		49. desk	6	—
48. bamboo shoots	0		50. electric wire	0	
49. onion	0		51. Buddhist family altar	0	
50. Chinese noodles	0		52. room	6	—
51. carrot	1		53. broom	1	
52. wheat	0		54. veranda	0	
53. chow mein	0		55. no-tell motel	0	
54. yokan	0				

表2～5の「中」の欄の数値は中学校検定教科書6種類の内、本文、ターゲットセンテンス中に、何種類の教科書がその語を登場させているかを示している。表2一番上の 'blackboard' の場合、1種の教科書に使用されていることが分かる。すぐ下の (board) は、ある教科書では

「黒板」の意味で board が用いられていることを表している。なおこの数値は三浦ほか（1987）に基づいたものである。

「中」の右隣の「高英Ⅰ」の欄は、調査の対象となった生徒が調査時に使用していた高校英語Ⅰの教科書の巻末リストをもとに、その教科書で新語として登場するのか（★）、中学校既習語として扱ってあるのか（－）を、表したものである。例えば、表3の‘socks’は新語、‘tie’は中学校既習語として扱われている。なお空白の語彙は取り上げられていないことを示している。

4. 結果と考察

表1をみると、ここに挙がっている語は彼らの日常生活を概ね反映したものであると言える。例えば「学校生活」では「黒板」「部室」「ごみ箱」、「衣」では「Gパン」「Tシャツ」、「食」に挙がっている「みそ汁」「焼き肉」「お好み焼き」、そして「住」の「階段」「便所」などは、極めて身近な語彙であろう。ただし、一部には日常生活とは直接関係のないと思われるものも挙がっている。「フンドシ」「ステテコ」のように日本独特のもの、「たて穴式住居」「十二単衣」など歴史事象に関するもの、そして彼らの年代に特徴的な性的興味を反映した「ラブホテル」「ブラジャー」などである。これらは、必ずしも「英語で表現したい」語彙とは言いきれないかも知れない。生徒全てが、自己表現を英語で行うことに興味を持っているかどうか、疑わしい面もあり、自分が会話や作文で使うことを前提にした者がいる反面、単なる好奇心のみで答えた者がいることは容易に想像できる（この点は、個人内に見られる興味・欲求の階層が明確に数値として捉えにくい needs analysis の弱点と言えるかもしれない）。しかし、英語による自己表現の第一歩が「英語で何て言うの？」という好奇心や興味であることは疑いのないところであり、本調査で得られた語彙は、この点において、意義を持つものであろう。

次に、表2から表5について考察してみる。表2及び表5に提示してある‘tap’（「水道」に対応する語として提示。我々はふつう、「蛇口」の意味で「水道」という言葉を用いている）という言葉为例として取り上げてみる。これは、ほとんどの家庭、学校に設置してあり、常に使用されているにも拘わらず、中学校段階では一社の教科書に現れているのみであり、彼らが使用中の高校英語Ⅰの教科書には登場しない（‘faucet’はいずれにも出てこない）。

表3にある‘bicycle shed’（自転車置き場）についても同様である。生徒たちの日本語の会話の中では頻繁に用いられているが、教科書では扱っていないことが分かる。以上の二例の外にも、‘trousers’、‘trash can’、‘closet’、‘noodles’など、日常生活と関わりが深い、教科書ではほとんど扱われていない語彙は、表2～5の中に多数見受けられる。

こうしたことは、コミュニケーション能力向上の立場からは見逃すことのできない問題点である。教科書の中に、日本語の生活語彙に対する English equivalent が不足しているという事実はこれまでにも、竹蓋（1983,53）や教科書研究センター（編）（1984,194）に指摘されている通りである。それらの「教育研究者の側からの教材評価」に付け加えて今回の調査からは、「学習者のニーズに応える」という側面からも、日常語彙の不足が指摘できたわけである。

以上のことを総合すると、今回調査分析した範囲内では次のように帰結することが出来るであろう。それは、語彙の面で、学習者のニーズと教科書を通じて与えられるインプットの間には、ズレが存在すると言うことである。言い換えれば、学習者の表現欲求の充足度が、教科書の学習だけでは低いということである。このことから、語彙に関して教材の見直しと、その整備が必要だと言えるであろう。

5. おわりに

今回の調査・分析は限られた条件下で行われたものであり、別の場での調査では違った結果となることは十分予想されることである。学習者のニーズを論ずる際、地域差や性別、年齢など、考慮に入れるべき点はいくらでもある。調査対象を拡大していくことで、さらに幅広い学習者ニーズをとらえることが可能となり、また対象グループ内の特徴が一層はっきりしてくるものと思われる。調査を実施する際も、今回実施したような形式で記入を求めることのほかに、領域を限定しないで自由に書かせる方法、まず何かを言わせてみて英語にできない部分を集めてみる方法など、様々な手法が考えられる。いずれにしても、学習者から引き出したものを中心に教材を編成し、それに基づいた語彙指導を進めることが、彼らの表現意欲を満たすと共に、語彙力、そしてコミュニケーション能力向上への一方策となることは間違いのないであろう。

参考文献

- Bowen, J. Donald, et al. *TESOL Techniques and Procedures*. Cambridge: Newbury House Publishers, 1985.
- Carter, Ronald. *Vocabulary: Applied Linguistic Perspectives*. London: Allen and Unwin, 1987.
- Fries, Charles C., and A. Aileen Traver. *English Word Lists: A Study of Their Adaptability for Instruction*. 1950. Trans. Setsuo Masuyama. Tokyo: Taishukan, 1958.
- Grainns, Ruth and Stuart Redman. *Working with Words: A Guide to Teaching and Learning Vocabulary*. Cambridge: Cambridge University Press, 1986.
- Mackey, William Francis. *Language Teaching Analysis*. London: Longman, 1965
- Richards, Jack C. and Theodore S. Rodgers. *Approaches and Methods in Language Teaching: A Description and Analysis*. Cambridge: Cambridge University Press, 1986.
- Rivers, M. Wilga. *Teaching Foreign-Language Skills*. Chicago: The University of Chicago Press, 1968.
- van Ek, J. A. *The Threshold Level in a European Unit/Credit System for Modern Language Teaching by Adult*. Strasbourg: The Council of Europe, 1975.
Republished as *Threshold Level English*, with L. G. Alexander. Oxford: Pergamon Press, 1980.
- West, Michael. *Teaching English in Difficult Circumstances*. 1960. Trans. Yoshio Ogawa. Tokyo: Eichosha, 1968.
- Wilkins, D. A. *Notional Syllabuses*. Oxford: Oxford University Press, 1976.
- 荒木一雄「基本語」『英語の語彙』現代英語教育講座5 福原麟太郎ほか(編)東京 研究社 1966.
- 五十嵐二郎『英語授業過程の改善』東京 大修館 1981.
- 稲村松雄(編)『語い・連語の指導』講座・英語教授法7 東京 研究社 1970.
- 大村喜吉ほか(編)『英語教育史資料1 英語教育課程の変遷』東京 東京法令出版 1980.
- 岡秀夫(編)『英語のスピーキング』東京 大修館 1984.
- 小篠敏明「ノーション・シラバスと教材作成」『英語教育』32.8(1983): 23-25.
- 織田稔・樋口忠彦(編)『中学英語の進め方―“使える英語”の指導をめざして』東京 杏文堂 1987.
- 垣田直巳ほか「英語の語彙指導」『英語教育』34.7(1985): 74-87.
- 片山嘉男ほか(編)『新・英語科教育の研究』東京 大修館 1985.
- 教科書研究センター(編)『教科書からみた教育課程の国際比較6 英語科編』東京 ぎょうせい

1984.

竹蓋幸生「なぜズレる？学校英語と生活表現」『The English Journal』18.14 (1988): 10-11.

_____「日本人の単語力には何が欠けているのか」『The English Journal』13.5 (1983):
51-56.

三浦省五（編）『文部省検定済高等学校用英語教科書使用語彙（英語Ⅰ・英語Ⅱ・英語ⅡB）』広島
溪水社 1987.

三浦省五ほか（編）『電子計算機による英語教科書の使用語彙総覧 中学校編 1987』広島 溪水社
1987.

文部省『高等学校指導要領解説 外国語編・英語編』東京 一橋出版 1979.

_____『中学校指導書 外国語編』東京 開隆堂 1978.